

2016年度 第2四半期決算概要説明

2016年11月11日
カルソニックカンセイ株式会社
取締役社長兼CEO 森谷 弘史



2016年度 第2四半期 決算概況 <4-9月累計>

(億円)

	15年度上期実績 (A) (15/4~9)	16年度上期実績 (B) (16/4~9)	増減 (B) - (A)
売上高 (付加価値売上高)	5,073 (3,097)	4,742 (2,852)	△331 (△245)
営業利益 ※ (営業利益率)	169 (5.5%)	186 (6.5%)	+17 -
経常利益 ※ (経常利益率)	182 (5.9%)	187 (6.6%)	+5 -
純利益 ※ (純利益率)	115 (3.7%)	125 (4.4%)	+10 -

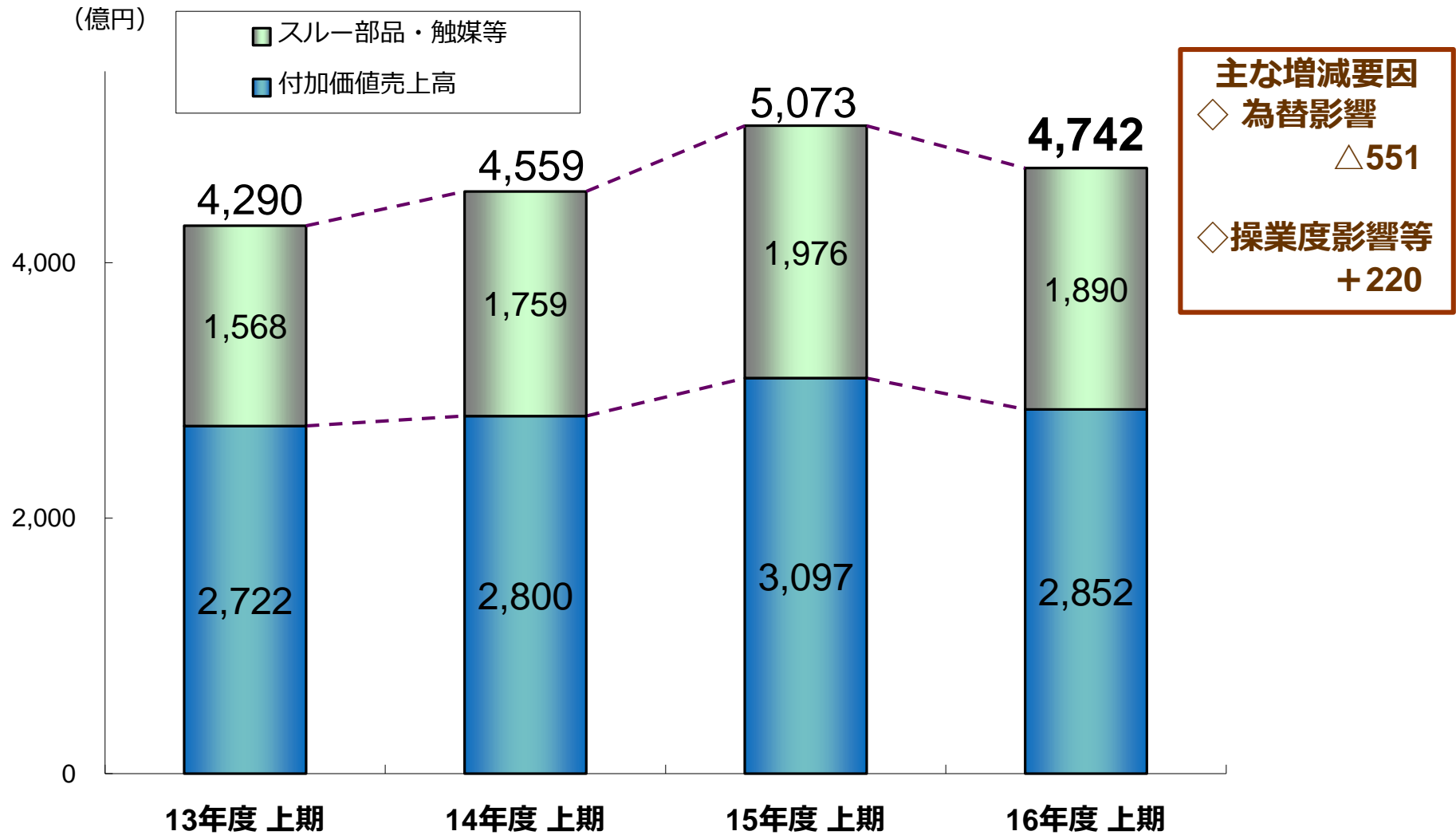
※利益率は付加価値売上高をもとに算出

為替レート	ドル	121.9	105.2	△16.7
	ユーロ	135.1	118.0	△17.1

営業利益・経常利益・純利益とも過去最高を更新

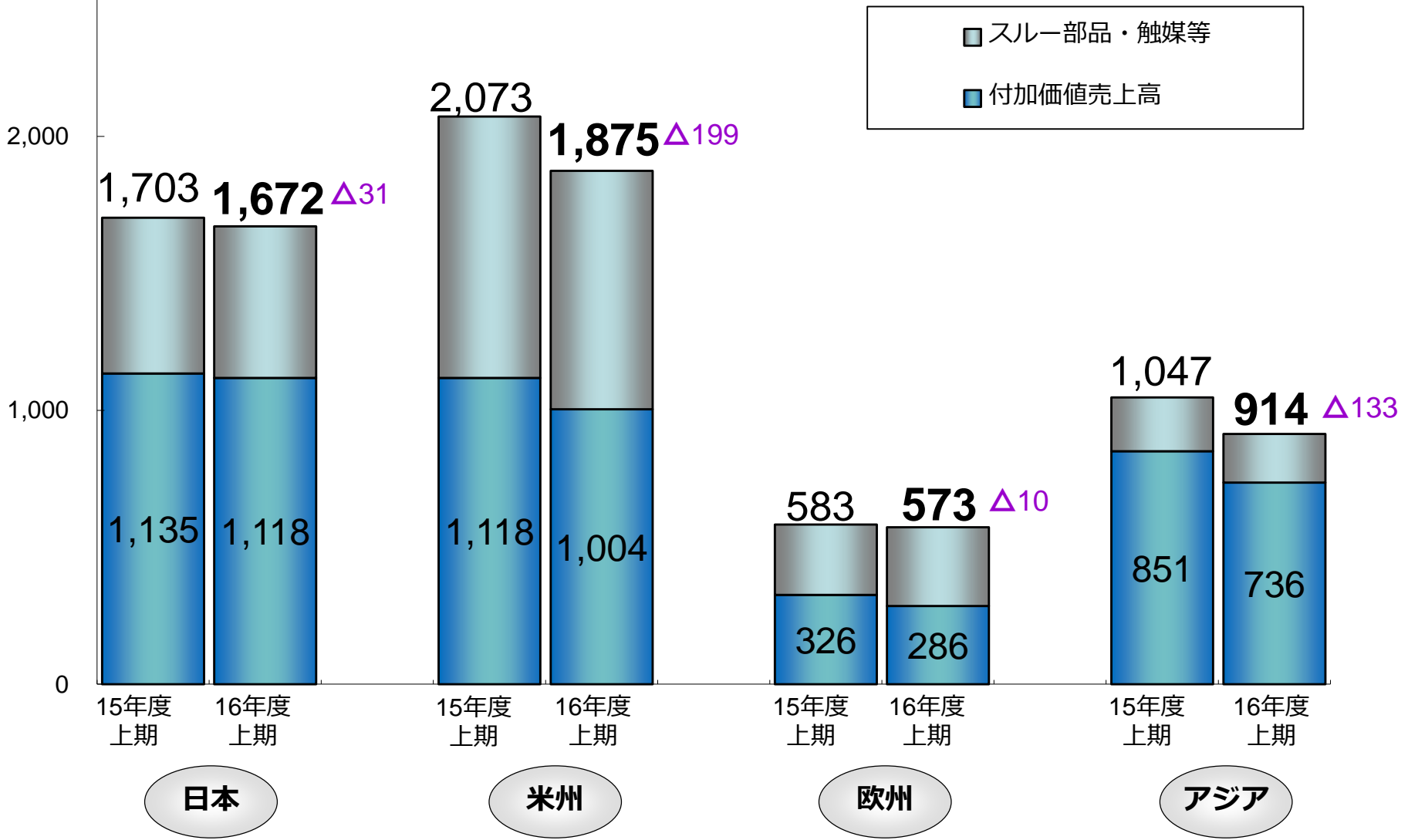
売上高推移 <4-9月累計>

(※) スルー部品は社内管理値

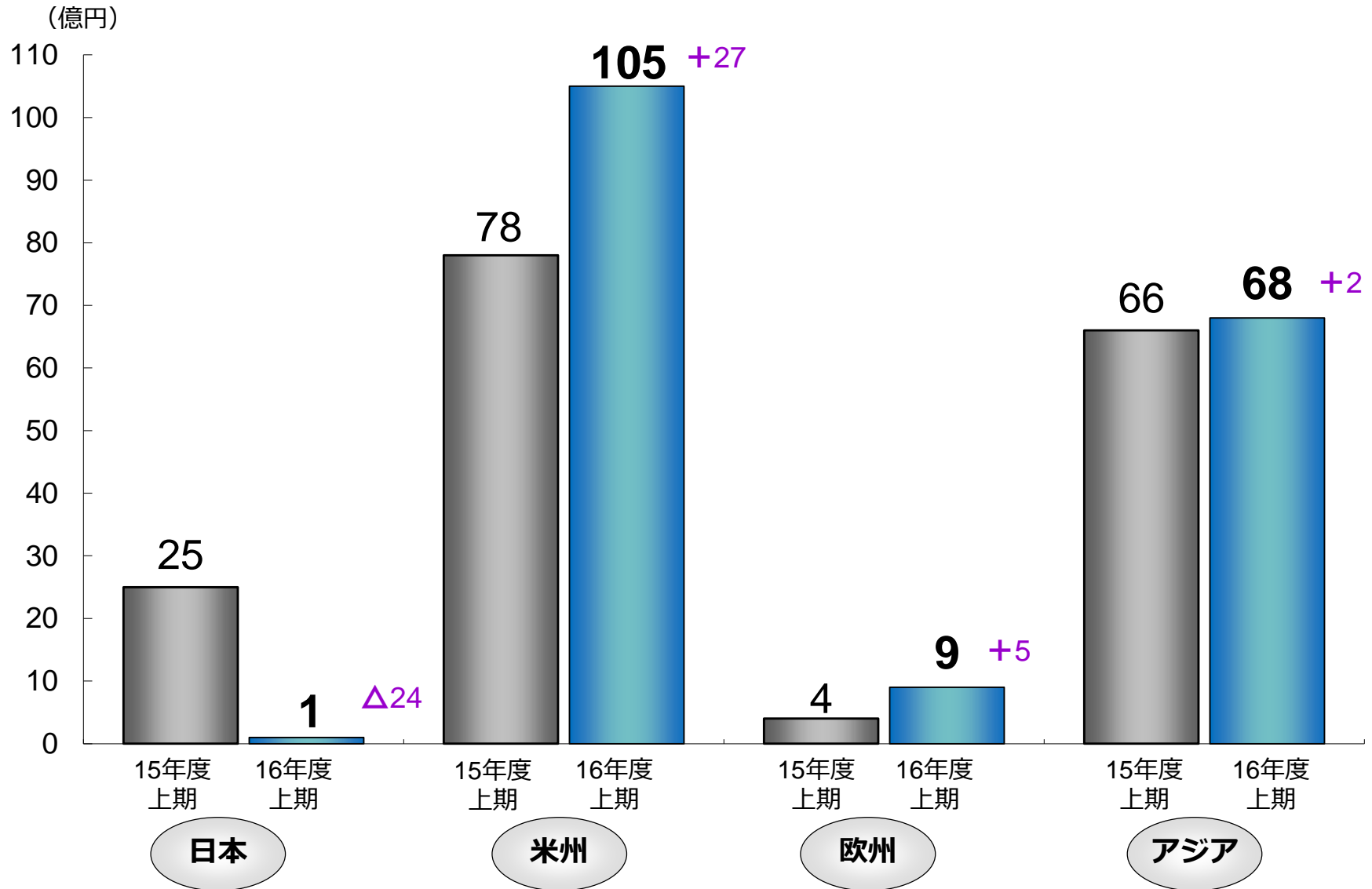


売上高推移 <地域別> <4-9月累計>

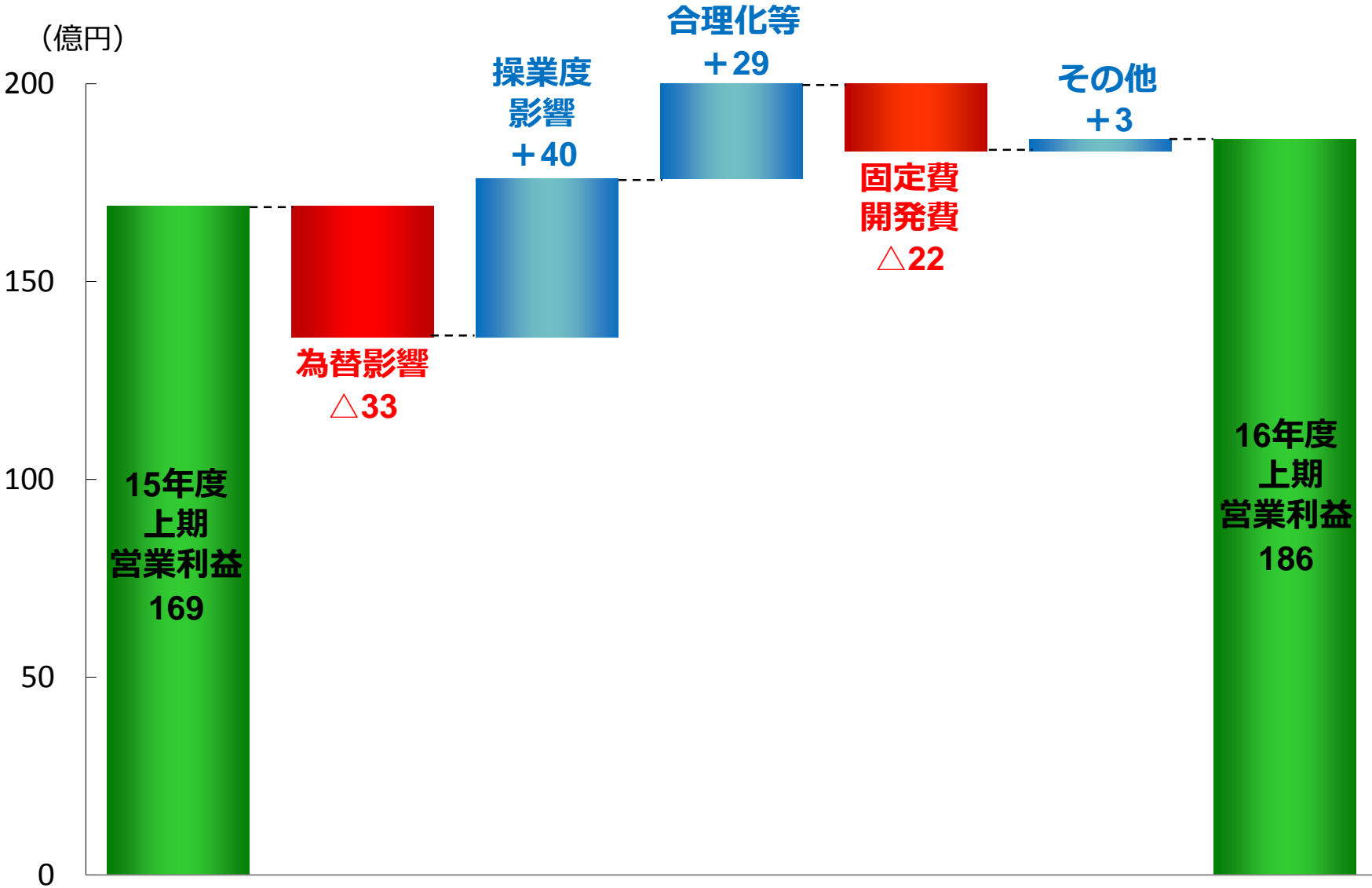
(億円)



営業利益推移 <地域別> <4-9月累計>



営業利益 増減要因 <15年度上期 - 16年度上期>



(億円)

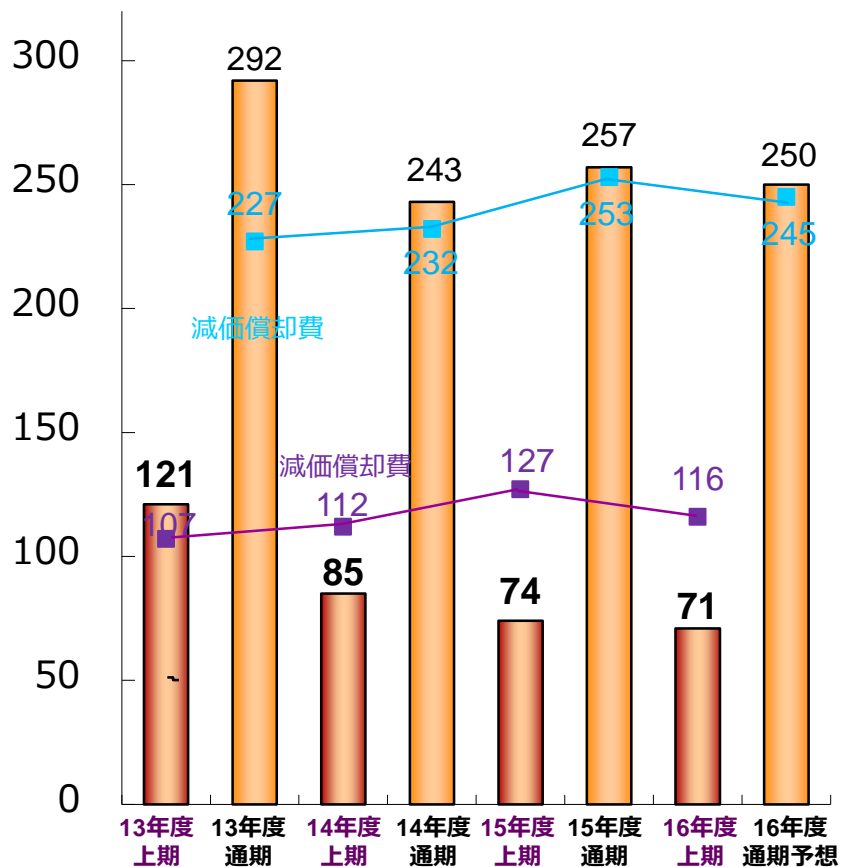
	15年度 上期実績	16年度 上期実績	主な内容 (16年度上期実績)
営業利益	169	186	
営業外損益	+12	+2	デリバティブ収益+26 為替差損△30
経常利益	182	187	
特別損益	△3	△2	
税引前利益	178	185	
税金等	△63	△61	法人税等△58
純利益	115	125	

(注) 四捨五入により合計が合わない部分があります

設備投資、減価償却費、研究開発費

(億円)

設備投資

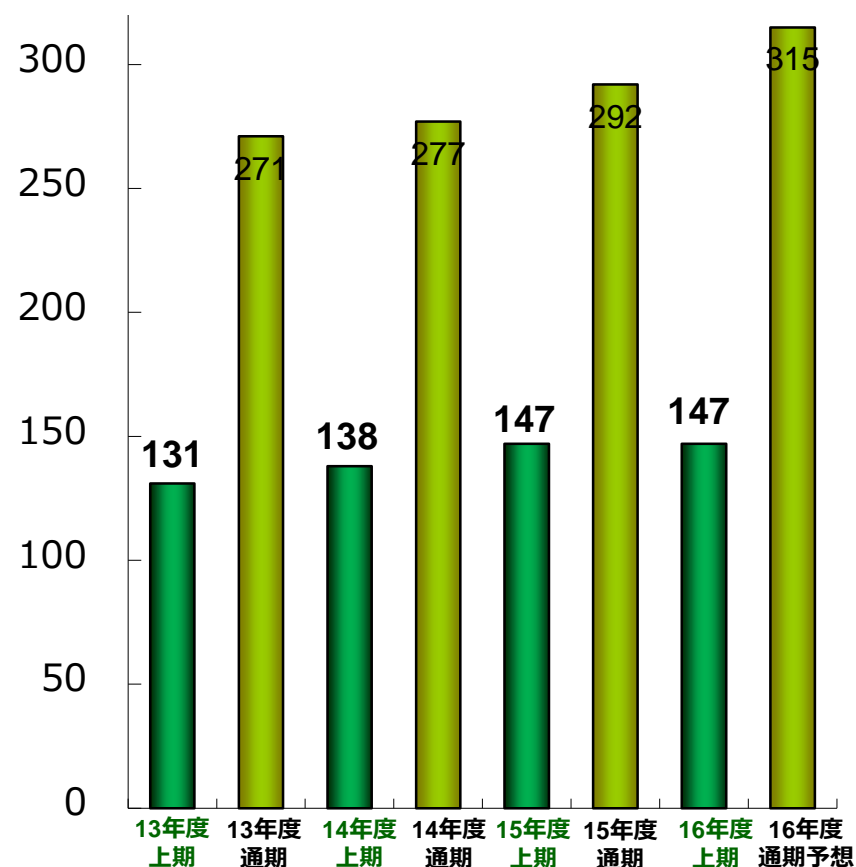


売上高比率
(付加価値売上高)

4.4% 5.1% 3.0% 4.1% 2.4% 4.0% 2.5% 4.2%

(億円)

研究開発費



売上高比率
(付加価値売上高)

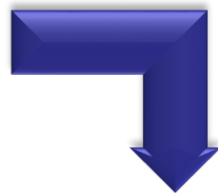
4.8% 4.7% 4.9% 4.7% 4.8% 4.6% 5.2% 5.3%

2016年度 見通し

16年度業績の考え方 (リマインド)

<15年度>

各地域で収益体質強化
売上1兆円 & 3期連続最高益



<16年度>

不透明な市場環境
円高の進行

新製品の拡販
日産外売上増加

日本：国内生産増加
米州：生産好調持続
中国：インセンティブ & 新車効果
コスト構造改善



2011-2016中期経営計画
「CK G×4 T10」の達成

その先の成長に向けた基盤固め

(億円)

	15年度実績 (A) (15/04~16/03)	16年度予想 (B) (16/04~17/03)	増減 (B) - (A)
売上高 (付加価値売上高)	10,533 (6,348)	10,000 (5,900)	△533 (△448)
営業利益 ※ (営業利益率)	382 (6.0%)	390 (6.6%)	+8 -
経常利益 ※ (経常利益率)	344 (5.4%)	370 (6.3%)	+26 -
当期純利益 ※ (当期純利益率)	225 (3.5%)	250 (4.2%)	+25 -

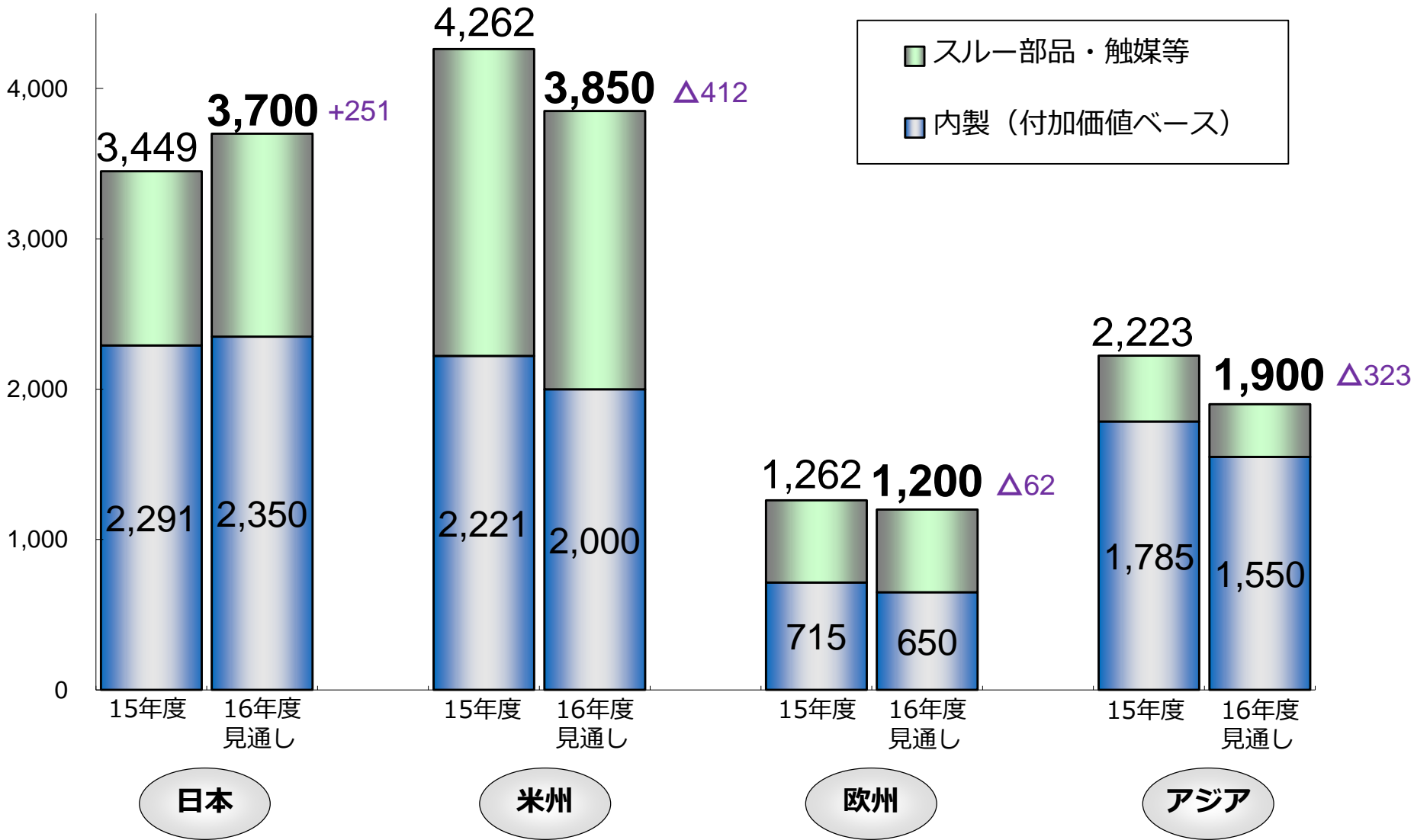
※利益率は付加価値売上高をもとに算出

為替レート ドル	120.2	105.0	△15.2
ユーロ	132.6	120.0	△12.6

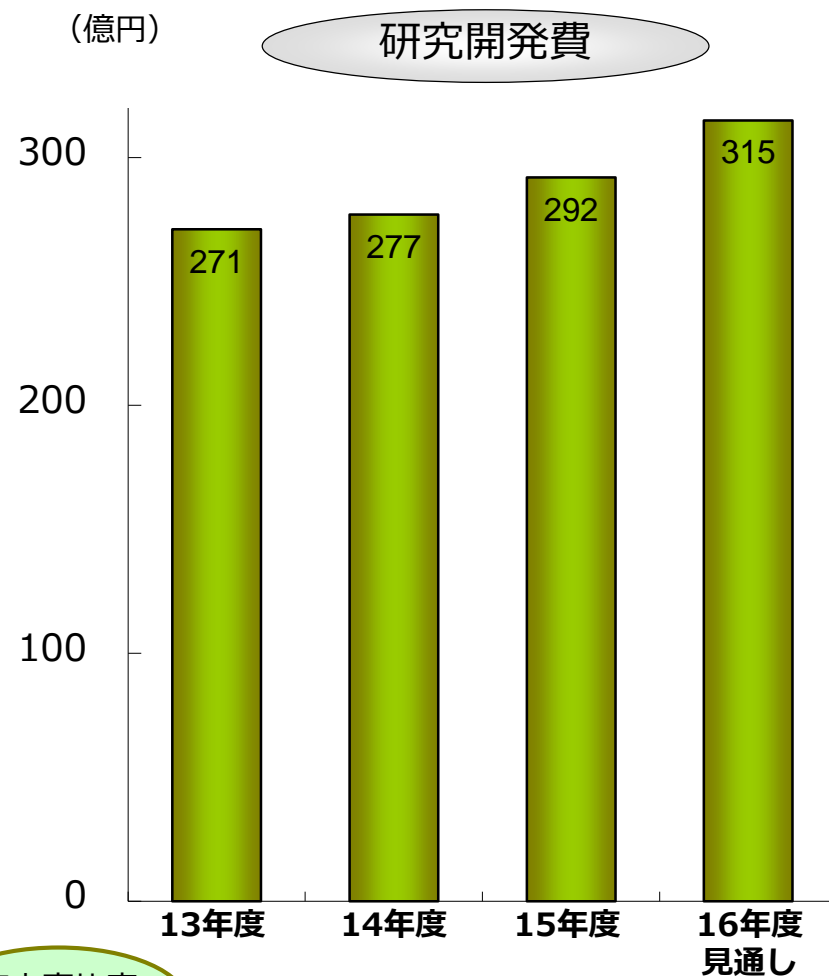
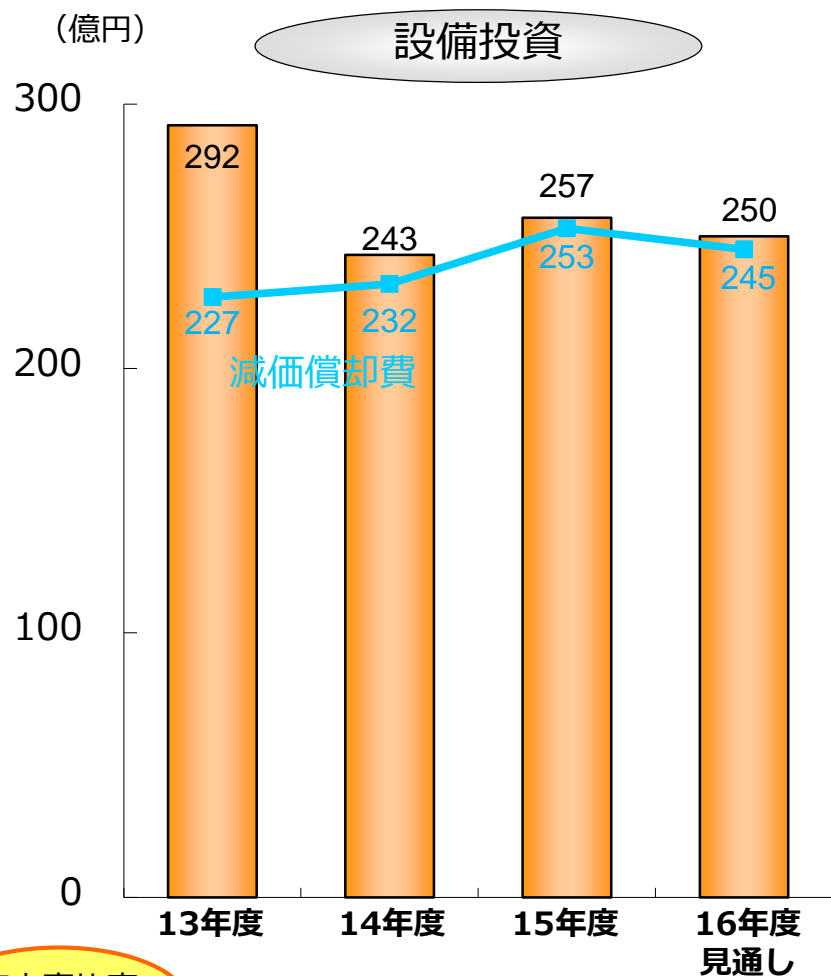
4期連続で営業最高益更新をめざす

売上高推移 <地域別見通し>

(億円)



設備投資、減価償却費、研究開発費 <計画>



売上高比率
(付加価値売上高)

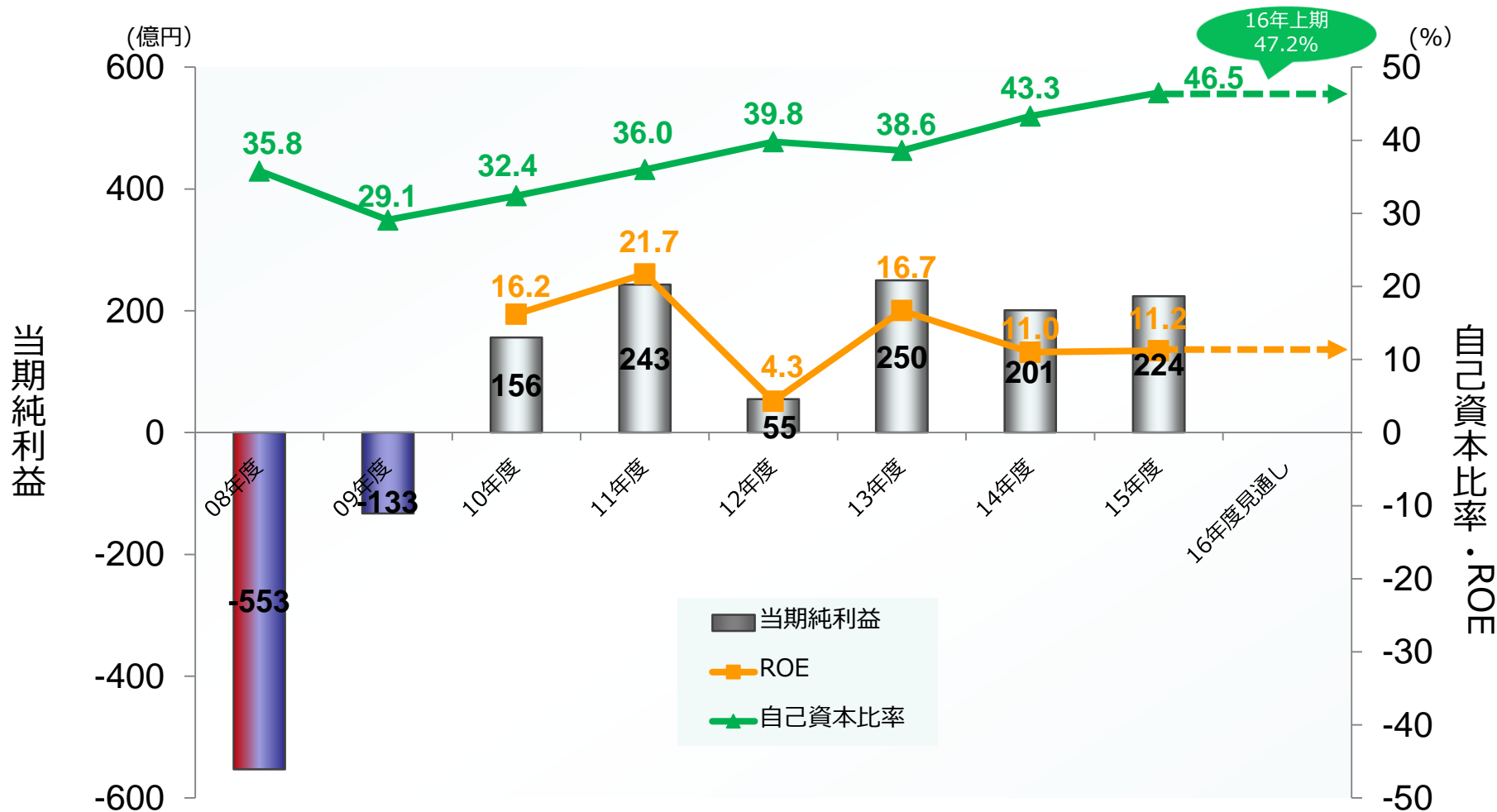
5.1% 4.1% 4.0% 4.2%

売上高比率
(付加価値売上高)

4.7% 4.7% 4.6% 5.3%

成長のための投資を継続

自己資本比率・ROE



40%台の自己資本比率と10%以上のROEを両立



<主な特徴>

● 新型VGフィン[®]採用

従来比

- ・ 低ガス抵抗化 ... 75%低減
- ・ 軽量化 ... 20%低減

世界最高性能を実現

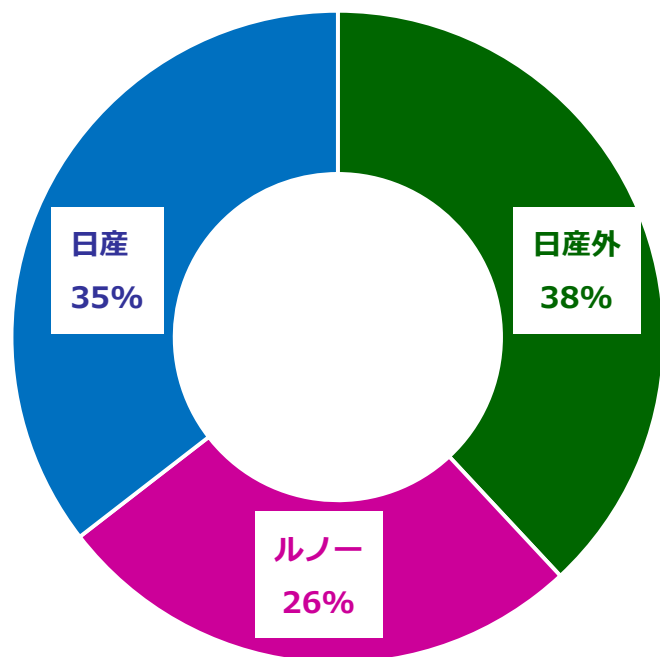
新型VGフィン



- 縦渦発生はさらに強力に
- 流路抵抗を低減し、EGR率向上に貢献
- 熱交換性能向上と抵抗低減によりさらなる小型・軽量化を実現

2016年度上期の新規受注実績

(金額ベース)



日産外への拡販

- A社 (日系) : 熱交
- B社 (日系) : コンプ
- C社 (日系) : 熱交
- D社 (欧州系・中国) : 熱交
- E社 (日系) : 熱交

ルノーへの拡販

- 電子
- コンプ

日産への拡販

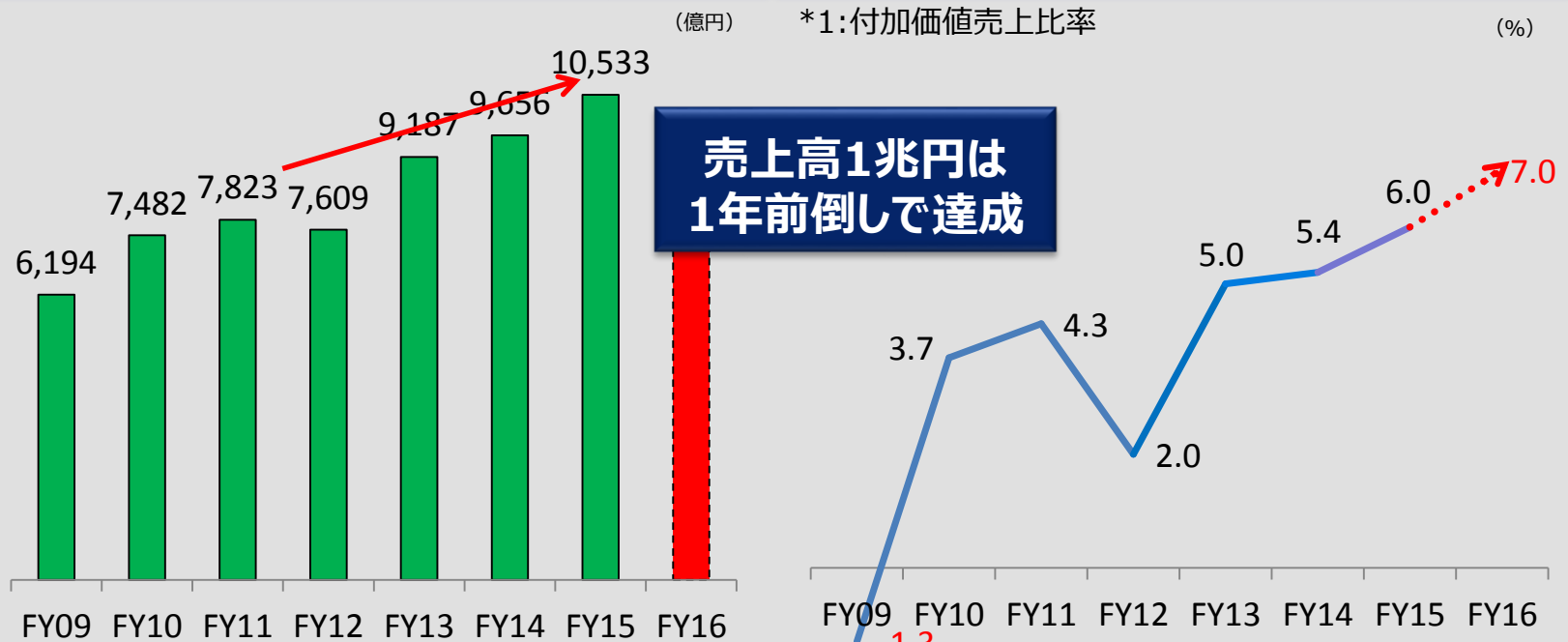
- 電子、空調、排気

日産外、ルノー、日産においてバランス良く拡販

CK GX4 T10

売上高Globalトップ10(1兆円以上)

営業利益Globalトップ10(7%レベル*1)





- 本資料に記載されているカルソニックカンセイ（株）の計画、戦略、意見等のうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、経済情勢、市場の動向、為替の動向等重要な要素の変動により、見通しとは異なる結果もあり得ることもご承知おき下さい。
- 本資料に掲載されている事項は情報提供を目的とするものであり、投資勧誘を目的としているものではありません。
- この資料の著作権はカルソニックカンセイ（株）に帰属しております。
無断転載・複製することを禁じます。